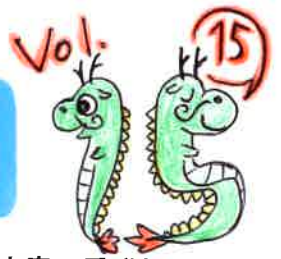




わんにゃん新聞



文責：看護師 古賀



みなさん、こんにちは!!
 早いものでもう2011年が終わって2012年になりますね。
 少しずつ冬に向かって寒くなって来ました。
 飼主さんも、わんちゃん、ネコちゃんも
 体調崩さない様に気をつけましょう。
 今回のテーマは『冬に多い病気①』です。

オシッコチェックしてますか？

寒くなると、運動する量が減ったり、夏のように暑くないので水を飲む量が少なくなりがちです。
 そうするとトイレに行く回数も減るため、
 膀胱内に尿がたまっている時間が長くなり、

結晶や結石ができたり、細菌感染がおきたりして**膀胱炎**になります。

外でしか排泄しないワンちゃんは、
 寒さのため散歩に行く回数が減少して排泄できず、病気になるコもいます。



症状は、トイレに行く**回数が異常に増えたり**、
 いつもよりトイレで長く座っている割には**オシッコの量が少ない**又は**出ていない**、
 オシッコする時に**痛そうな表情をしたり声を出したり**します。
 また尿の色がいつもより濃かったり血液が混ざっていることもあります。

オスはメスにくらべて、尿道が細長いため、
 重症になりやすいのでより注意が必要です。
 膀胱などで形成された結石が尿道で詰まってしまい、
 オシッコが出なくなります。(尿道閉塞)
 オス猫では尿道が非常に細いため、
 本当に小さな結石でも詰まってしまうことがよくあります。



尿道閉塞は急性腎不全を発症し、
無処置で数日間放っておくと死に至る場合もあります。
 あれ？様子がおかしいと思った時は、2-3日様子を見るのではなく、
 すぐに連れて来てください。早期治療の方が治りも早いので、治療費もその分かからなくなります。

↑ボウウの中に入ってきた結石です。手術で取り出しました。(犬・ウエステ)



西川動物病院 43-0200





ペットも冬仕度



最近では室内飼いが多いですが、外飼いでいる方もたくさんいると思います。
これから寒い冬に備えて準備を始めましょう。

●小屋の場所●

日当たりの良い場所に置いて下さい。

その際は、なるべく雨にあたらない、
または激しく雨が中に吹き込んでこないような
場所にしてあげると良いです。



●小屋の中●

毛布などを入れてあげましょう。

日中は、小屋から出ているときなどに
太陽が当たる場所に干してあげて下さい。

床にはダンボールをひいてから、
毛布など敷いてあげると下からくる冷気対策になります。

また、日中温まった毛布が地面へすぐ逃げない為の保温効果もあります。

電気カーペットやマットなどはコードをかじられない様に気を付けて下さい。



●特に冷え込む夜は…●

犬種によっては寒さに強い犬もいますが

それでも夜や夜明けの寒さに震えることもあると思います。

そういった時期は玄関の中に入れてあげて下さい。

特に老犬は抵抗力や、体温調節機能も衰えて来ていますので気を付けてあげましょう。

短毛種の犬は寒さに弱いので、できるだけ暖かくしてあげて下さい。

寒さで痩せたりすることがありますので、注意が必要です。

○エキゾチック(小鳥・ハムスター・うさぎなど)も冬仕度○

室内でも夜や飼主さんが留守中は冷え込みます。

多頭飼いのコはお互い暖めあうことが出来ますが、
1匹で飼っているコは特に気を付けてあげて下さい。

日当たりのよい所に置いて、小屋に毛布をかける、
電気カーペットを置いてあげるなど寒さ対策をして下さい。

ハムスターは5℃以下になると冬眠することがあります。

死んでいると勘違いしないください。

冬眠させない方が体力を消耗しませんので、5℃以下にならない様に気を付けて下さい。

